

常任委員会レポート

令和6年度一般・特別・企業会計の予算をはじめ、令和5年度一般・特別・企業会計の補正予算や条例の制定などの議案を、各常任委員会で審査しました。ここでは、その一部を紹介します。

総務委員会

令和6年度袋井市一般会計予算 ～非常備消防費～

Q 消防団整備強化検討会はどのように協議を進めていくのか。また、消防団整備強化検討業務委託で、消防団員の悩みや入団しない方の理由や課題を聞くことが消防団活動に生きるのではないのか。

A 令和6年度から2カ年を予定しており、消防団員の定員や装備の考え方、常備消防と非常備消防の役割分担について協議し、必要なことについて予算化をしていく。また、メンバーについては自治会連合会長を常設の委員として、消防団業務に詳しい大学の先生から意見を聞くことも検討しており、柔軟に対応できる検討会の予定をしている。また、消防団員に関して、令和3年度から令和5年度にイメージアップ戦略を進めてきた。消防団整備強化検討業務委託では消防団員の悩みや入団しない方の理由や課題を聞くことを参考にし、委託業務の範囲を整理し、令和6年度にこういった形がよいか検討をしたい。



消防団の水防演習の様子

令和6年度袋井市一般会計予算 ～デジタル田園都市国家構想交付金～

Q にぎわい創出事業委託料のイベントはアートをテーマに開催をする予定だと聞いているが、具体的にどのようなものを予定しているのか。

A 海のにぎわい創出プロジェクトのイベントについては、海の利活用の可能性をお示しすることを目的としており、本年度は「夜」をテーマに開催し、来年度は「アート」をキーワードにしたイベントの開催を予定している。「アート」をテーマに選定した理由は、多くの人に関わることができることから、「参加型のイベント」を企画することで、より多くの方が海との接点を持つきっかけをつくりたい。具体的な内容については、地域の皆さまとも御相談しながら進めていきたい。

民生文教委員会

令和6年度袋井市一般会計予算 ～老人福祉費～

Q 高齢者等補聴器購入費助成について、申請手続が煩雑に感じるが、もう少し簡略化することはできないか。また、高齢者等補聴器購入費助成は、アンケートによる実証事業に参加していただくモニター100人を対象に3万円を上限として助成することであるが、このモニターを100人とした根拠は。

A 補聴器相談医がいる医療機関や認定補聴器専門店に行き購入する手続となるため、審査に必要な書類自体を簡略化することは難しいが、補聴器販売店に申請書類に対して作成やアンケート記入の支援をお願いしており、補聴器を購入する場所で高齢者の負担が軽減できるよう進めている。また、モニターの人数については、日本老年医学会などによる有病率、あるいは補聴器装用率から試算した中央値のほか、補聴器販売店における販売台数などから、モニターとして数字が取れる一定の量として100人を見込んだ。



補聴器の一例（写真は耳かけ型）

令和6年度袋井市一般会計予算 ～学校給食費～

Q 食の安全や食育の中で、今、全国的にオーガニック給食が注目されている。オーガニック給食の提供に向けた考えは

A オーガニック給食の導入に際しては、いくつかの課題があり、有機栽培米でいえば、一つ目に慣行栽培米と比較して購入額が高額になるため、給食費の値上げに関し、保護者の理解が必要になること。二つ目は、安定的に供給していただく必要があること。三つ目は、現状の慣行栽培米から有機栽培米に切り替えるにあたり、慣行栽培米生産農家の理解が必要になることなどをクリアすることで、初めて導入に向けた検討ができるものと考えている。